

日本地理学会2006年春季学術大会 公開特別セッション

2005年パキスタン地震に地形学はどのように挑んだのか？

ーリモートセンシングから地震断層現地調査ー

主催：日本地理学会災害対応委員会

日時：2006年3月29日 13:00～16:30

場所：埼玉大学 工学部総合研究棟1階シアター教室

オーガナイザー：鈴木康弘(名古屋大)・宇根 寛(国土地理院)

suzuki@seis.nagoya-u.ac.jp, une@gsi.go.jp

- | | |
|----------------------------|--|
| 2005年パキスタン地震の発生源となった活断層の認定 | 熊原康博(広島大)・中田高(広島工大) |
| 衛星画像から地表断層変位を探る | 宇根寛・熊木洋太(国土地理院) |
| SAR解析による地殻変動量と地震断層の推定 | 藤原智・飛田幹男・佐藤浩・小沢慎三郎・宇根寛(国土地理院) |
| 衛星画像解析による斜面崩壊 | 佐藤浩・小荒井衛・宇根寛・藤原智(国土地理院) |
| 2005年パキスタン地震の地震断層の現地調査 | 金田平太郎・粟田泰夫(産業技術総合研究所)・堤浩之(京都大)・中田高(広島工大) |
| 地すべり・斜面崩壊の現地調査 | 宮城豊彦(東北学院大)・八木浩司(山形大)・丸井英明(新潟大) |
| 2005年パキスタン地震の地震断層と家屋被害 | 梅村 順(日大)・内山庄一郎(防災科学技術研究所) |
| | 中田高(広島工大)・粟田泰夫・金田平太郎(産業技術総合研究所)・堤浩之(京都大) |